

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話（呼）一〇三八番
編集人 後藤幸夫
印刷人 丸山徳平
毎週水曜日休刊
一ヶ月三十四円
購読料 一部一円

牛乳ビンの紙フタが 手軽にとれる

●若い女事務員が特許出願

平市大工町事務員吉野某女（三）は今般特許局え次の様なしん發明特許を出願したがこれは案外商品価値がある話題を賑しているそのしん發明といふのは至つて簡単に毎朝配達される牛乳壺からヒントをのぞくのも先ずとり難い牛乳壺の紙蓋にカギをつけるのがねらい、あのまゝの紙の中心に器用に細工して楕圓形の小指程度

こんごの失業救済 どう手を打つ

●……仕事はなくなる一方

平職安所管下に於ける市町村營、縣營の失業救済事業は現在
（平市）では市役所並に縣が事業主体となつて公共空地整備、荒廢市街地整備、新川河川工事戰災復興等

きょうの人 出三万

新正月以上の賑い、舊正月の三日それに日曜日として小春日和の暖かさ、近頃ない好條件に恵まれ、石城地方の人々は地方文

化の中心都市「たいら」をめぐり、殆んど三十台の卒業生が、朝から殺到、これが占められていた向全町の卒業生全部を網羅すれば、少くとも三百名以上には達する模様である。

内郷礦支部 辯論大會

内郷礦支部では来る二十八日午後五時より全町淺野記念館に於て辯論大會を催すことになつた論題は「組合運動と政治活動」「青年と文化活動」について

湯本未亡人會

湯本町の戦争未亡人と一般未亡人等はお互に扶けあつて社會の荒波を乗り切つて行こうと今回湯本未亡人會の結成式を舉行した

麻薬はしさに 手當り盗む少年

植田町字石塚無職飯山常秋（七）は一昨年十月町診療所から麻薬など百点三万円相當を窃取した外自轉車のタイヤ、チェーン、ベルト木炭等手當りに盗みをはたらきこれを賣却しては麻薬を賣つて注射してた事發覺十七日植田署に御用

湯本磐中同窓會

湯本町中卒業生は昨十八日午後四時から全町松栢館公會堂前に二階建木造の民で湯本同窓を再編成、全町館を總工費二百萬円で建設の中間的同窓機關として活動することを申し合せたが小集會場、階下が圖書館と當日の参加者は約三十名である

平公民館

今年中に建設、平市では明年度事業として三丁目商店會ノ割引券御利用下さい

お待ちせいたしました！
愈々舞台装置完成
磐城文化の殿堂
平市公會堂

★松竹歌劇ノ女王★
オリエ津阪
★特別出演★
上演番組
上 演奏
下 演奏

豪華實演 1950正月に放つたヒット
2月20日21日正月4日5日
1 スキング
2 ピンク・リボン
3 満月猫合戦 (七景)

前賣一〇〇円 市内ニテ只今發賣中
三丁目商店會ノ割引券御利用下さい
主催 川徳演劇部
後援 平市三丁目商店會
●舊元日開演豫定の處舞台装置が間にあわず延期せる事を紙上おわび申上げます (主催者)

湯本礦選炭場全焼 損害四千萬圓以上

十七日午後九時頃湯本町常計五百二十三つぼと貯炭三
磐炭礦湯本礦選炭場から出百トン、選炭機などを全焼
火同選炭場百九坪、休憩所して十八日未明漸く消し止
五十坪、水洗機上家四十七めた損害は四千萬圓以上
坪、自動車々庫百四十坪、達する見込みであり原因は
貯炭上家八十三つぼ、選炭機放火説、漏電説あり目下湯
機上家十六つぼ、その他本町署で取調中

葉たばこの賠償金 三千百餘万圓

平均反當も約二万圓也

専賣公社平出張所管内の二
十四年度葉たばこ収納はこ
の程終了したが今年も永年
耕作に慣れたたばこ種
から松川葉に全面的に轉換
した為耕作技術の不徹底か
ら一般的に成績はあまり芳
しくなかつたがしかし耕作
者は熱と努力で増産に突進
した結果反當賠償も磐崎村
の二万五千二百八十二圓を
最高にパーレー種に劣らぬ
成績を示した今年の總收量
は二十三万五千九百九十
キロでこの賠償額は三千百
五十六万圓一千九百餘圓に
達しており反當も一万九千
百七十餘圓となり最も反當
の多かつたのは磐崎村の二
万五千二百八十二圓であつ
た尚今年の優良耕作者は次
の十氏である

完全に復
舊は今秋

(別項) 常磐湯本礦(舊入
山)の選炭能力は一日千二
百トンを上廻つていたが今
回の大火で選炭機の焼失か
る半減の余儀なきに至つた
のでこの損害は焼失物件以
上に評價されておる見込みで
ある

園藝講習會

平市並に平地區農業改良指
導所共催でなす、きうりの
温床栽培等に就て廿日か
(水戸)平山嘉平 (上遠)三日間公會堂で園藝講習に平

炭勞常磐 地區スト

習會開催
郡關本町字櫻塚海産物商
賣りに來た人品のいやしが
武夫さん方へ中古自轉車を
賣らぬ中年男を下館地區署で
擧動不審で本署に引致その
後取調べた結果元子爵で世
が世ながら下館城主である
石川總光(男)と判明喰わん
が爲に關東一圓をまたにか
け自轉車専門のドロ的を働
いた旨自供したので引續き
取調中
▲(青森)弘前市新寺町豊
田有限會社工場から十七日
午前二時半頃發火したちま
ち同工場を全焼三時過ぎに

ニュース

▲(茨城)去る十三日眞壁
郡關本町字櫻塚海産物商
賣りに來た人品のいやしが
武夫さん方へ中古自轉車を
賣らぬ中年男を下館地區署で
擧動不審で本署に引致その
後取調べた結果元子爵で世
が世ながら下館城主である
石川總光(男)と判明喰わん
が爲に關東一圓をまたにか
け自轉車専門のドロ的を働
いた旨自供したので引續き
取調中

鎮火したがその際直して
た事務員の作山宗新(三三)さ
んは逃げ遅れて無慘にも焼
死した原因損害不明

映画だより

●世界館 二十日-二十六
日「白雪先生と子供たち」
●平館 二十一日-二十八
日「婦系圖」
●平文化 二十一日-二十
七日「妻の部屋」
●聚樂館 二十一日-二十
七日「鐵のカーテン」

直龍軒

美容~埋容
平局横丁角

純綿物豊富

平市四丁目
山吉商店

山吉商店

平市四丁目

山吉商店

平市四丁目

好間、赤井の炭礦所在町村に満足する事なく關係市町
に於て著しくこの傾向にあ村當局は縣と協議の上急速
る事は貴紙の報する通りだに工事を起しこれら失業者
これら失業者の行動が共産の徹底的救済に乗り出すべ
と、社會黨のいう三月攻勢まで、殊に平市の場合には上
となるかどうかは知らぬが水道計画、尼子橋の架替え
社會問題としては全く等閑等多くある故當局の勇斷を
にふする譯にはいかぬ。爲望む 平市 Y 生

丸二商店

平市白銀町十一

平華

中華料理

緑屋本店

平市一丁目電五三九

山吉商店

平市四丁目